



Vol.17

博物館わくわく通信

Spring



2022.4.1

— 展示解説員が博物館の見どころを紹介します —

かさいりゅう 火砕流って何？



かさいりゅう
火砕流は噴火の際に出た高温の火山灰や軽石がガスと一体になって急速に流れるもので、大規模な噴煙柱や溶岩ドームの崩壊により発生します。宮崎の大地は、過去に何度も巨大噴火の影響を受けました。

約3万年前の始良カルデラ（現在の錦江湾の最奥部にあったカルデラ）の噴火により発生した火砕流は、九州南部を埋め尽くし広大なシラス台地を作りました。宮崎の大地を変えた火山噴火



写真：宮崎市生目地区

その量は膨大で一瞬で地形を変え動植物を死滅させるものでした。

宮崎市内では生目古墳群付近でもこの時の火砕流の堆積物（シラス）が見られ、火砕流が鹿児島からそこまで達していたのかと考えると恐ろしく感じます。

宮崎の大地を変えた火山噴火



1階自然史展示室には、私たちが生活する宮崎の成り立ちを紹介する大地のコーナーがあります。ぜひご覧ください。

おすずやま ツツジの名所～尾鈴山～

1階自然史展示室では、宮崎県で見られる様々なツツジを紹介しています。

中には固有種のツツジもあり、特にミツバツツジの仲間は最も多くの種類が自生しており、宮崎県が世界一の宝庫といっても過言ではありません。春になるとツツジの名所"尾鈴山"では、濃い朱色のオンツツジ、淡いピンクのヒュウガミツバツツジ、イエローのヒカゲツツジなど色鮮やかでグラデーションが美しい大きな花びらのツツジが見られます。設置モニターでは、"尾鈴山"の自然豊かな風景と共に満開の色鮮やかなツツジたちの映像が流れています。映像をチェックして、是非、実際に春の尾鈴山へ足を運んでみては如何でしょうか。



博物館クイズ



宮崎県総合博物館 2階展示室入口では、今から約1万数千年前の旧石器時代に活やくした人が狩りを行っています。

さて、彼らが狙っている動物は次のうちどれでしょうか？

- ① カツオ
- ② ニホンジカ
- ③ ニホンカモシカ



写真：尾鈴山 ②：掲王

